
とある最強の転生者(イレギュラー)

蒼い狸

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とある最強の転生者^{イレギュラー}

【コード】

N3866Z

【作者名】

蒼い狸

【あらすじ】

神によって魔術と科学の世界に転生させて貰った男 久瀬川闘^{くせがわと}
也。^{うや}
彼はこの“とある魔術の禁書目録”の世界でどのような道を行くのか…

神をも超える力を与えられた男の第二の人生が今、幕を開ける

この作品はオリ主最強もの、オリ要素あります。

作者は文才ないです。

よって、駄文になる可能性大です。
そして、多分ご都合主義の嵐ですので、どうか生暖かい目で見守って下されば幸いです。

ここまで規格外だと、最早変態としか言いようがねえよ (前書き)

初めまして、蒼い狸です。

この作品が処女作となります。

文才がなく駄文になってしまうかもですが、楽しんでいただけたら幸いです。

ここまで規格外だと、最早変態としか言いようがねえよ

何処なんだ此処は…

周りは四方共に真っ白な空間が広がっている。

と言うか、何か外を散歩していたらいつの間にかこの空間にいた。

「あゝ」

声が出たので其方を振り向くと……幼女がいた

…いや、別にふざけてる訳じゃないよ？

本当に居るんだって、幼女が。

しかもかなり可愛いのが。

「えーと………迷子？」

「違います、神です」

「…驚いた。こんな小さな子でも厨二病を発症するのか」

「断じて厨二病なんかじゃないです！神です、私！」

「だから自分のことを神って自称してる時点で既に厨二病なんだって」

「自称じゃなくて、本物の神なんですッ！」

「じゃあ神さまってことを証明してみてよ。そしたら信じてあげる

「よ」

「言いましたね……！その言葉、忘れないで下さい！」

自称神さまの幼女が指をパチンツと鳴らす。

そして次の瞬間には、幼女は跡形もなく消えていた。

「なぬっ！？何処へ行つた！」

「こつちですよ」

突然後ろから先程の幼女の声がした。

「……嘘、いつの間に!？」

「指を鳴らした瞬間にです。これで信じてくれますか？」

「……ああ、信じるよ」

よく見りゃいつの間にか羽も生えてるし。

頭の上に光輪も浮いてるし。

明らかに普通じゃない。

「じゃあ信じてもらえましたがし、本題に入りますね。

まず端的に言います………貴方は死にました。よって転生させてあげます」

「………死んだって、いつ？」

「貴方が散歩していた途中です。大通りの横断歩道を渡っている時に、信号無視の大型トラックに撥ねられたんですよ。覚えてませんか？」

「……………全く覚えてない。」

「そうですか。まあ、そっちの方がある意味幸せなのかもしれませんね」

「あの……………どゆ事？」

「五臓六腑が人肉ジュースになった。言ってしまうえば死に方がそれはもう凄惨で悲惨だったってことですよ。良かったですね、思い出せずに済んで」

「良かった……………のか？」

「何か釈然としない……………」

「と言う訳で、転生させてあげます」

「ちよつと待った。俺が死んだ理由は分かった。けど、何でそれだけで転生の対象になるんだ？」

「貴方の死が全くの不確定要素イレギュラーだったからですよ。本来貴方はもつと先の未来に死ぬ筈だったんですから」

「あー……………つまりアレか？」

「二次創作でよくあるテンプレか？」

「そういうことです。なので二次創作みたいにそれはもうチートな能力付きで転生させてあげます。どんな能力がほしいですか？」

チートって言われてもねえ……………もういいや面
倒くさいっ！

「神にも負けることのないような、ものすごく強い能力くれっ！」

「激しく大雑把ですねっ！?…………でも、まあいいでしょう。それなら丁度いいのが有りますし」

「それってどんなん？」

「それは転生してからの楽しみです」

「…じゃあ転生する世界って何処なんだ？」

「それも着いてからの楽しみです」

「何だそりゃ。せめて転生先の世界ぐらい教えてくれてもいいじゃねえか」

「うるさいです。文句言うなら地獄送りますよ?」

「すみませんでした」

速攻で土下座を敢行。
地獄だけは勘弁だ。

「よろしい。では、転生させますね」

「その前に一つ聞いていいか？」

「何ですか？」

「俺がこれから行く世界ってのは面白いのか？」

俺が気になるのはこれだ。

転生した先の世界がつまらない所なら、せっかく貰ったチート能力が宝の持ち腐れになってしまう。

そして幼女な神さまの答えは、そんな俺の期待を裏切らないものだった。

「もちろん。貴方がこれから行く世界は貴方にとって最高に面白い所の筈ですよ」

「…そうか」

「じゃ、逝ってきて下さい」

その言葉と共に、いきなり周りの景色が真っ黒になった。ってちよ
つとーッ!?!?

「穴に落とすなら落とすと先に言ええええええええ!!!!」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3866z/>

とある最強の転生者(イレギュラー)

2011年12月13日02時10分発行